

東北中学校体育連盟 設立70周年記念大会
 令和7年度 東北中学校体育大会
第62回東北中学校スキーダービー要項

- 1 目的** この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、東北の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催** 東北中学校体育連盟 (公財)全日本スキー連盟東北ブロック連合
 秋田県教育委員会 鹿角市教育委員会
- 3 後援** 東北地区中学校長会 秋田県中学校長会 青森県教育委員会 岩手県教育委員会
 宮城県教育委員会 山形県教育委員会 福島県教育委員会
 (公財)秋田県スポーツ協会 鹿角市 NPO法人鹿角市スポーツ協会
 東京美装興業株式会社 秋田魁新報社 NHK秋田放送局 ABS秋田放送
 AKT秋田テレビ AAB秋田朝日放送 共同通信社仙台支社
- 4 主管** 秋田県中学校体育連盟 秋田県スキー連盟 鹿角中学校体育連盟 鹿角市スキー連盟
- 5 会期** 令和8年1月10日(土)～11日(日), 23日(金)～25日(日)

期日	開始時刻	内 容	会 場
10日(土)	11:00	ジャンプ競技公式練習・予備飛躍	花輪シャンツエ
11日(日)	11:00 引き続き 14:30 14:45	女子・男子スペシャルジャンプ 女子・男子コンバインドジャンプ 女子コンバインドクロスカントリー 男子コンバインドクロスカントリー	花輪シャンツエ 花輪スキー場 クロスカントリーコース

期日	開始時刻	内 容	会 場
23日(金)	8:00 10:00 11:00 13:00	監督会議(クロスカントリー) 男子5kmフリー 女子3kmフリー 監督会議(アルペン)	アルパスアリーナ 花輪スキー場 クロスカントリーコース アルパスアリーナ
24日(土)	9:30 引き続き 10:00 11:30	女子ジャイアントスラローム 男子ジャイアントスラローム 男子5kmクラシカル 女子3kmクラシカル	花輪スキー場 ジャイアントコース 花輪スキー場 クロスカントリーコース
25日(日)	9:00 引き続き 10:00	女子スラローム 男子スラローム 男子リレー・女子リレー	花輪スキー場 ジャイアントコース 花輪スキー場 クロスカントリーコース

※表彰式は、各競技終了1時間後をめどに花輪スキー場アルパスアリーナ前で行う。

- 6 会場** 鹿角市花輪スキー場 (各種目会場)
 〒018-5201 鹿角市花輪字百合沢 81-1 TEL 0186-23-8000

- 7 競技種目** 男 子
 アルペン種目：スラローム、ジャイアントスラローム
 ノルディック種目：クロスカントリー (5kmクラシカル・5kmフリー)

リレー（5km×4人）
スペシャルジャンプ（HS 5.6m）
ノルディックコンバインド（HS 5.6m・5kmフリー）

女子

アルペン種目：スラローム、ジャイアントスラローム
ノルディック種目：クロスカントリー（3kmクラシカル・3kmフリー）
リレー（3km×3人）
スペシャルジャンプ（HS 5.6m）
ノルディックコンバインド（HS 5.6m・2.5kmフリー）

- 8 参加資格**
- (1) 学校教育法第1条に規定する中学校※に在籍し、各県中学校体育連盟加盟校に在籍する生徒で、競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
※本連盟では、「中学校」とは中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学校部とする。
 - (2) 同一年度内の参加者は、全種目を通じて一人1種目とする。
ただし、スキー、スケート、アイスホッケー、駅伝については、特例として兼ねることを認める。
 - (3) 過年齢生徒の参加については体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達する年度まで出場できるものとする。
 - (4) 参加資格の特例（各種学校等）
 - ①学校教育法第134条の各種学校（1条校以外）に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ア 東北大会の参加を認める条件
 - (ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - (ウ) 参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員・部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
 - (5) 参加資格の特例（地域クラブ活動に所属する中学生）
 - ①地域クラブ活動に所属し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ②東北大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - ア 東北大会の参加を認める条件
 - (ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - (ウ) 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - (エ) 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年1月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「II 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - (オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは各県競技団体に登録されていること

と。かつ同じ内容で各県中学校体育連盟に登録していること。

- (カ) 各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
(キ) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件

- (ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
(イ) 東北大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
(ウ) 東北大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
(エ) 団体競技(種目)における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする(複数のチームの参加はできない)。

ウ チーム編成の条件(東北中体連独自の取決め)

団体競技(種目)に参加する際は、同一県内中学校に在籍する選手でチームを編成することとし、県境を越えたチーム編成は認めない。

エ 参加を認めない場合

本大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

*1 この特例は、令和5年4月1日より適用する。

*2 上記特例については、専門部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

*3 上記特例については、今後も検討を続けていく。

(6) 抱点校部活動の参加

現行の(公財)日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会抱点校部活動参加規程」の範囲内を原則とし、各県中学校体育連盟に承認され、東北大会出場権を得たチームについては参加を認める。

9 引率者及び
監督等 (1) 学校においては、引率者及び監督は出場校の校長・教員(非常勤は除く)・部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていかなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会(予選を含む)で登録できる学校は1校のみであること。

- ① 満20歳以上であること。
② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
③ 次のいずれかに当てはまる者とする。

ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。

イ (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ 自治体(含む教育委員会)、体育(スポーツ)協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。

※ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

(2) 外部・校外コーチは、校長が認めた者とする。

※外部コーチ…校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。

※校外コーチ…クラブ・道場などの指導にあたっている者。

(3) スキーの外部指導者は、同一人が複数校の外部指導者を兼ねることは差し支えない。

(4) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ・トレーナー等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処罰を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。また、地域クラブ活動においても指導者に暴力等がない

ことを代表者が確認して、大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。

- (5) 当該校に部活動がない個人種目については別紙「東北中学校体育大会引率・監督細則」に基づき特例を認める。(引率・監督者の特例報告書が必要)
※引率・監督者の特例報告書は、申込と同時に提出すること。
- (6) コーチ確認書(校長承認書)の提出については専門部の申し合わせ事項による。
- (7) 学校において、引率・監督について東北大会開催基準や同引率細則に当てはまらない状況がある場合は所属県中体連が大会実行委員会へ相談すること。

10 参加数

(1) 参加人数

県別	男子	女子
開催県	各種目15名以内	各種目10名以内
その他の県	各種目10名以内	各種目8名以内

(2) シード方法

①ノルディック

シード・人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第1シード	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3
第2シード	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4
第3シード	0	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4
第4シード	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4

②アルペン

シード・人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第1シード	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3
第2シード	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4
第3シード	0	0	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4
第4シード	0	0	0	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4

11 競技規則

- (1) (公財)全日本スキー連盟競技規則最新版による。ただし、本大会要項に定めるものを優先とする。
- (2) クロスカントリー競技について、男子はクラシカル走法とフリー走法(共に5km) 女子はクラシカル走法とフリー走法(共に3km)とする。
- (3) クロスカントリー競技、スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド競技、アルペン競技を同一選手が兼ねることはできない。
- (4) リレー競技は学校(クラブ)対抗とし、出場数は開催県3校(チーム)以内、その他の県は2校(チーム)以内とする。選手登録は男子7名以内(走者は4名とし、第1・2走者はクラシカル走法、第3・4走者はフリー走法)、女子6名以内(走者は3名とし、第1走者はクラシカル走法、第2・3走者はフリー走法)とする。
- (5) コンバインドジャンプ競技においては、予備競技ラウンドを行うこともある。
- (6) コンバインドクロスカントリー競技はフリー走法(男子5km・女子2.5km)とする。また、S A J得点換算表によって計算しグンダーセン方式で行う。
- (7) 本大会出場選手が、県名を示すワッペン(記章)をレーシングスーツにつける場合は、次の通りとする。
- ① ワッペン表記は漢字とし、県名のみとする。
 - ② 生地は白色のみとし、字の色は黒もしくは県カラーとする。
 - ③ ワッペンのサイズは縦6cm、横12cm以内とする。
 - ④ 一人1枚とする。

12 表彰

各種目男女ともに第8位まで表彰し、賞状を授与する。

- 13 参 加 料** (1) 参加生徒一人2,000円とする。
(2) 参加申込後の出場辞退や欠場の場合における参加料の返金は行わない。

- 14 参加申込** (1) 申込期限
(ジャンプ) 令和7年12月25日(木) 申込書類データ正午必着
(アルペン・クロカン) 令和8年1月16日(金) 申込書類データ正午必着
※各県一括して申込期限までに「18連絡先」大会実行委員会事務局へ送信すること。
様式1, 2, 3, 8については、原本をPDF化したもの(ただし、フルカラーレー300dpi以上に限る)を「18連絡先」に送信する。
(2) 申込書類
① 引率・監督の特例報告書(様式1) ※他校に監督依頼する学校のみ
② 代理監督委任状(様式2) ※他校に監督依頼する学校のみ
③ 参加申込書(様式3)
④ 種目別出場選手一覧表(様式4・5)
⑤ 選手団名簿(様式6)
⑥ 参加申込集計表(様式7)
⑦ 参加料等申込書(様式8)
⑧ 役員一覧表(様式9)
⑨ 宿泊申込書(様式10) ※大会事務局と宿泊デスクに送る。
※すべて電子メールで提出すること(原本は各県専門部委員長が保管する)。
(3) 参加料等の納入について
① 申し込みと同時に、各県一括で参加料、プログラム代を振り込むこと。
② 金額は参加申込集計表等と必ず一致すること。
③ 手数料は各県で負担すること。

<参加料等振込先>

金融機関 秋田銀行 花輪支店(店番号254)
口座名義 第62回東北中学校スキーワールドカップ実行委員長 成田勇信
(読み仮名:ナリタユウシン)
口座種別 普通 口座番号: 1084361

- 15 諸会議** (1) 抽選会 日時: 令和7年10月17日(金)
会場: 秋田県鹿角市文化の杜交流館コモッセ
(2) 組織委員会(第1回) 日時: 令和7年10月17日(金) 14:00~
会場: 鹿角市文化の杜交流館コモッセ
(第2回) 日時: 令和8年1月22日(木) 10:00~
会場: 花輪スキーランドアルパス
(3) 監督会議 日時: 令和8年1月23日(金)
(クロカン) 8:00~ (アルペン) 13:00~
会場: 花輪スキーランドアルパス

- 16 宿泊** 宿泊要項は別紙とする。大会出場者(引率者・監督・コーチ・選手)の宿泊については、必ず宿泊要項にある指定業者を通して申し込むこと。

- 17 その他** (1) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証(マイナンバーカード等)を持参することが望ましい。

- (2) 東北中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校（チーム）名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表とともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各県中学校体育連盟を通して東北中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡を取り、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。
- (3) 申込に使用する漢字は、原則として常用漢字・人名用漢字とし、プログラム掲載も同様とする。ただし、それ以外の漢字の使用を特に希望する場合は、大会実行委員会へ相談すること。
- (4) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
- ※「会場周辺の事故」には、競技中の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪、雷等、天候の影響で起こった場合も含む。
- (5) 不測の事態に備えて任意の傷害保険に加入していることが望ましい。
- (6) 各セクションごとのコースの開放時間等については、「第62回東北中学校スキーワークショップ」に随時更新していく。
- (7) 本大会において開閉会式は行わない。表彰式は競技終了後に行う。
- (8) 自然災害等により、緊急な対応が想定される場合の連絡手段は、「第62回東北中学校スキーワークショップ」を用いて行う。
- (9) プログラムは1冊2,000円とする。

18 連絡先

第62回東北中学校スキーワークショップ実行委員会事務局
〒018-5141 秋田県鹿角市八幡平字諸田4-1 八幡平中学校内
担当：安保 正崇
Tel:0186-32-2226 Fax:0186-32-2227 E-mail:hachimantai-jhs@ink.or.jp